

資料3

報道発表資料
平成21年10月5日
気象庁第114回火山噴火予知連絡会
全国の火山活動の評価

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成21年6月18日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

○ 全国の主な火山活動

今期間（6月18日～10月4日）桜島、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、6月下旬から爆発的噴火の発生回数が増加するなど、噴火活動がやや活発化しました。これらの噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,500mで、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大4合目まで達しました。また、8月10日の噴火では、火砕流が昭和火口の東側約500mまで流下しました。

南岳山頂火口では、10月3日に空振（桜島黒神）295Paの爆発的噴火があり、噴煙が火口縁上3,000mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目まで達しました。

桜島の噴火による降灰量は7月以降増加していますが、傾斜計による地殻変動観測では山体地盤の下降を示す変化は認められておらず、桜島直下へのマグマの供給が徐々に増加していると考えられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① 雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・火山性地震は7月と9月に一時的に増加しましたが、それ以外の期間は概ね低調に推移しました。火山性微動は発生していません。
- ・火山活動は落ち着いた状態となっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）〕

- ・62-2火口付近では2006年以降、GPSによる地殻変動観測で62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる局所的な地殻変動がみられ、現在まで継続しています。
- ・62-2火口付近の地震活動及び同火口の噴煙活動や熱活動は低調に推移していますが、

今後の活動の推移に注意が必要です。

③ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ A火口及びB噴気孔群では高温の状態が続いています。また、山頂溶岩ドーム付近の局所的な膨張を示す地殻変動が、2006年以降継続しています。
- ・ 地震活動や噴煙活動は低調な状態ですが、今後の活動の推移に注意が必要です。

④ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(平常)]

- ・ 8月27日、女岳東北東斜面に植生が枯死している領域が存在するとの情報が寄せられました。8月28日に現地調査を行ったところ、長径約12m、短径約5mの楕円状の範囲で植生の枯死域が確認され、ごく弱い噴気が認められました。また、赤外熱映像装置による観測では、枯死域のほか、その上部斜面でも地熱の高まりが認められました。一方、従来から認められている女岳山頂北部の地熱域の地表面温度分布には特段の変化はありません。
- ・ 9月3日に実施した上空からの観測では、今回確認された枯死域及びその上部斜面の地熱の高まりにその後の変化は認められず、その周辺に他の枯死域は確認できませんでした。
- ・ 地震活動は低調な状態で推移しています。
- ・ ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

があります。

④ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2008年11月11日に大穴火口で噴気活動が活発化し、その後も大穴火口では高さ50～400mの白色の噴気が観測されていましたが、現在は概ね低調な状態となっています。一切経山や、大穴火口以外の場所では、地表面温度等の変化は認められません。
- ・火山性地震は少ない状況が続いています。
- ・大穴火口周辺での地殻変動観測では、2008年8月頃からの火山性地震の増加にあわせ、わずかに伸びる変化が観測されました。しかし、2009年1月頃からは縮みの変化に変わったとみられますが、6月以降その傾向はみられません。その他の広域の地殻変動観測では変化はみられません。
- ・大穴火口での噴気活動は継続していますので、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑥ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

③ 浅間山 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、今年2月の噴火以降、減少傾向がみられますが、2008年7月以前の状態と比べ引き続き多い状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、昨年7月初め頃からの深部へのマグマ貫入を示すわずかな伸びの傾向は、今年7月頃から鈍化しています。
- ・地震活動は引き続きやや多い状態が続いています。
- ・2008年6月以前と比べて火山活動は引き続き高まった状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね2kmの範囲

では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測で、昨年8月頃からわずかな伸びの変化が認められます。この変動は、地下深部の膨張を示していると考えられます。
- ・その他の観測データで浅部の異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・2008年9月頃から2009年8月にかけて小規模な地震活動が繰り返し発生しました。
- ・箱根山を挟む東西方向のGPSの基線では、2008年6月から2009年春ごろまで伸びの傾向が見られました。
- ・その他には特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・GPS、光波距離計による地殻変動観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続しています。短期的には2008年夏からの伸び変化が1月頃からほぼ停滞しています。
- ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・二酸化硫黄放出量は一日あたり1千～3千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。

- ・地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化はみられません。
- ・引き続き三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
- ・多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が必要です。

⑬ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・地震活動は落ち着いた状態で経過しています。2006年8月以降見られている島全体が隆起する地殻変動は、2009年5月中旬頃から隆起の傾向が鈍化しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑮ 福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・中岳第一火口では、6月下旬以降、火山灰の噴出は観測されていません。
- ・南側火口壁の噴気孔では火炎現象及び赤熱現象が引き続き観測されていますが、噴気孔の状況に特段の変化は認められませんでした。
- ・孤立型微動はやや多い状態で経過しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は少ない状態で経過しました。
- ・湯だまりの量は9割、その表面温度は50~60℃で経過しました。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡(中岳第一火口から西南西約6km)の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

③ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 霧島山

新燃岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませ

んが、火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴煙がみられることから、火口内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。

御鉢 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)] ←平成21年7月19日に火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から3(入山規制)に引き上げました。

- ・昭和火口では、6月下旬から爆発的噴火の発生回数が増加するなど、噴火活動がやや活発化しました。7月中旬から下旬にかけては、昭和火口の南東約3kmに設置している空振計で100Paを超える爆発的噴火も発生しました。これらの噴火による噴煙の最高高度は火口縁上2,500mで、弾道を描いて飛散する大きな噴石が最大4合目(昭和火口より800~1,300m)まで達しました。また、8月10日の噴火では、火砕流が火口東側約500mまで流下しました。
- ・南岳山頂火口では、10月3日に空振(桜島黒神)295Paの爆発的噴火があり、噴煙が火口縁上3,000mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石が4合目まで達しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は、7月以降多い状態で経過しました。
- ・桜島の噴火による降灰量は、7月以降増加していますが、傾斜計による地殻変動観測では山体地盤の下降を示す変化は認められていません。このことから、桜島直下へのマグマの供給が徐々に増加していると考えられます。また、GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部(鹿児島湾奥部)の膨張による変化が引き続き観測されています。今後、始良カルデラの地下深部に蓄積したマグマが桜島直下へ多量に移動・上昇した場合には、火山活動が更に活発化する可能性があります。
- ・以上のように、桜島の火山活動は次第に活発化している傾向がみられることから、今後の推移に注意する必要があります。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑥ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。火山性地震は3月下旬以降やや多い状態が続いています。
- ・今後も、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑦ 口永良部島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)] ←平成21年8月4日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(平常)に引き下げ、火口周辺警報を解除しました。また、平成21年9月27日に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表し、噴火警戒レベルを1(平常)から2(火口周辺規制)に引き上げました。

- ・火山性地震は9月27日以降やや多い状態が続いており、振幅の小さな火山性微動が観測されるなど火山活動はやや高まった状態で経過しています。
- ・GPSによる地殻変動観測では、2008年9月から続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、2月頃から鈍化し、6月以降認められなくなり、その後変化はありません。
- ・8月20日の現地調査及び9月28日の上空からの観測では、新岳火口及びその周辺の

状況に変化はなく、新岳南側火口壁で引き続き噴煙活動が認められました。

- ・ 火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がありますので、火口から1 km程度の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

⑧ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- ・ 諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しており、今期間も爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。
- ・ 8月27日22時00分頃には、噴火に伴う振幅の大きな火山性微動が発生しました。
- ・ 8月28日に行った上空からの観測では、御岳火口の北西側に多量の火山灰が積もっているのを確認しました。
- ・ 火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・ 今後も、御岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成21年10月5日現在、25火山に導入している。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	新潟焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	白山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	富士山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	伊豆大島	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
硫黄島	火口周辺警報 (火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報 (火口周辺危険)	
福徳岡ノ場	噴火警報 (周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報 (周辺海域警戒)	

	火山名	現 在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	九重山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報 (レベル1、平常)
	霧島山(御鉢)	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地 方	火 山 名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

